



往 bunka 来

文芸サークル「木綿葉の会」の代表になった熊本高専名誉教授の開豊さん(63) 2006年の結成以来、八代市を拠点に毎月合評会を開き、年1回、同人誌「木綿葉」を発行しています。会員は23人。私は熊本高専でいまもコンピュータープログラミングを教えています。若い頃からアメリカ文学に興味を持っていま

す。前代表で英文学が専門の山田章則さん(6月に逝去)は高校時代の恩師。「中央にはない、八代ならではの文化土壌を育んでいこう」という山田さんの思いを受け継いでいくつもりです。2年前の創立10周年には、作家の林望さんの講演会を開きました。熊本地震で開催が危ぶまれましたが、無事成功し、多くの人々に喜ばれました。八代に文芸の灯をともし続ける活動をしていきます。

(福田寿生)